

遠州森林認証グループについて



責任ある森林管理
のマーク

グループ構成員

- 掛川市森林組合
- 森町森林組合
- 掛川市
- 森町
- 静岡県(中遠農林事務所)

■ 認証日:平成29年3月22日

■ 認証面積:1106ha

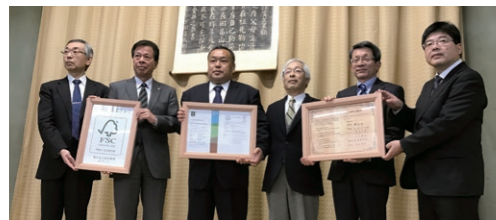
(今後、認証林は拡大していく予定です。)



現地審査



書類審査



FSC森林認証伝達式
森・掛川広域で国際基準の森林管理に取り組んでいきます。

グループの行動方針

1. 遠州FSC®認証材の安定供給のために、認証森林の拡大、安定供給体制の構築、流通施設の整備、森林の公益的機能の維持・発揮を図ります。
2. 遠州FSC®認証材の需要拡大のために、中遠地域の公共建設物等に遠州FSC認証材を活用するよう推奨する他、本方針に賛同する団体等と連携強化に努めるなど森林認証の普及・広報活動を推進します。

わたしたちの森林施業

遠州森林認証グループでは、FSCの原則に基づいた健全かつ適切な森林管理を進めています。

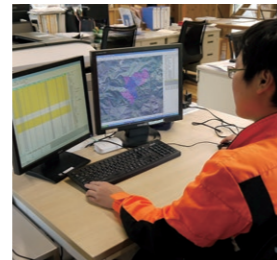
FSC®の原則に基づいた森・掛川の森林管理

次の世代を育てる



幼木を助け、将来の森林資源を育てます

継続的な管理計画



コンピューターを使い流域森林の長期計画を管理します

境界の明確化



森林の境界を明確にして施業集約化を推進し誤伐を防ぎます

現場技術員の安全装備



適切な安全装備で安全作業を推進します

低コスト作業の徹底



機械の導入と無駄を省いた工程管理で生産コストの削減に努めます

貴重な動植物への配慮



森林に生きる多様な生物に配慮します(写真はクマガイソウ)

あなたの暮らしに、街の風景に、木のぬくもりを届けたい

先人たちが植え、地域の風土に育かれた森・掛川の森林は、今成熟期を迎えています。幾重にも年輪を重ねた木々は、地域の宝物のひとつ。その宝物たちは、今まさに利用されるのを待っています。

木は人にも自然にもなじむ、ぬくもりある材料です。あなたの暮らしに、街の風景に、地域のFSCの森から伐り出された木材をぜひご活用ください。地域の木材を使うことは、地域の環境を守り、経済を持続させることにつながります。

森・掛川地域の木材活用については、遠州森林認証グループにお問い合わせください。



地元の木は決して高価ではない

近年、日本の杉・桧の価格は国際価格化し、既に高いものではありません。外国産材に比べても、より安価でお求めやすくなっているのが現状なのです。



グループのこれから(組合長対談)

榛村 森と掛川でFSC森林認証を取得することができましたね。

甚沢 そうですね。私たちの森林管理が国際基準と認められました。

榛村 これまで培ってきた管理の経験を踏まえ、いよいよこれからが大切ですね。

甚沢 そう、認証取得はあくまでスタート。大事なのはこれから。

榛村 森は成熟期を迎えつつあり、山に若い力が加わってきた。これを期に新たな森林の循環が生まれていくと良いですね。

甚沢 そうなれば木を植えてくれた先人たちにも報いることができる。

榛村 そして私たちが次世代のための森づくりを行う。

榛村・甚沢

お互いに未来に向けて豊かな森づくりを頑張りましょう!

写真右: 森町森林組合 代表理事組合長
甚沢 万之助

写真左: 掛川市森林組合 代表理事組合長
榛村 航一

森町 大日山金剛院山林にて撮影

